



地域共生応援大使  
ふっころ

あなたとフクシを結ぶコミュニケーション誌

# 福祉だより 信州

社会福祉法人長野県社会福祉協議会 ふれあいネット信州 <https://www.nsyakyo.or.jp/>

vol.815  
MAY.JUN.2024  
編集・発行  
長野県社会福祉協議会



## CONTENTS

- ちいきとあなたと、ともに暮らす…………… 2P  
認知症の人もその家族も当事者として  
誰もが自分らしく暮らせる地域を目指して
- 特集** 令和6年度 長野県社会福祉協議会の取組について 5P
- ふっころ Information  
令和6年度 県社協相談窓口 & スタッフのご紹介します…………… 7P
- ふっころ Information  
令和5年度 寄付・寄贈者芳名…………… 8P



「福祉だより信州」は  
共同募金の配分金で  
発行されています。





認知症の人とその家族も当事者として  
誰もが自分らしく暮らせる地域を目指して



福祉の現場で活躍するスタッフをご紹介します

公益社団法人認知症の人と家族の会  
元理事・現 長野県支部世話人  
長野県福祉大学校 非常勤講師  
かまた はるゆき  
**鎌田 晴之さん**

今年度から長野県社会福祉協議会で寄付の受け付けを始めた新規事業「ウィルサポファンド」の検討委員を2年間務めた鎌田さん。認知症や多様な障がいなどを抱えた人が自分らしく暮らせるよう、個々の意思決定と権利行使支援のための社会づくりへの思いや期待を聞きました。



# さまざまなことができにくくなったときにもフォローがある社会を



1



2



3



4

1 「認知症の人と家族の会」本部で、介護保険・社会保障専門委員会の委員長も務めた鎌田さん。これまで様々な研修や会議に参加し、多様な専門職や研究者から学ぶことで福祉や介護に対する視野が広がったと話す。

2 毎年秋に支部全体で取組む“アルツハイマーデー”の広報活動。

3 ベトナムからの介護職実習生との交流会。

4 毎月開催している諏訪地区の“男性介護者の会”。

## 介護家族の経験から“支える側”へ

全国に1万人以上の会員を持つ「認知症の人と家族の会」の常任理事を8年間務めるなど、認知症や福祉の多様な取組に携わってきた鎌田さん。山好きが高じて、1990年に東京から原村に移住し、2005年ごろから、都内で妹一家と暮らす認知症の母を、兄妹と介護職であった妻とで遠距離介護をしてきました。その後施設に入所した母が亡くなり、介護家族が悩みを共有する場の重要性を実感し、介護家族を支える側として、地域での集会の開催や会報の発行などを手掛け、当事者同士で支え合う場を築いてきました。

「認知症状の現れ方は人の数だけありますが、家族は悩みを分かち合うだけで安心感が得られます。『認知症の人“と”家族の会』、両方が当事者だという考えが会のこだわりです」

近年は福祉や介護の現場で権利擁護が重視されるようになり、高齢者や障がい者が意思や権利を表現できず不利益を被ることがないよう「成年後見制度」などが制度化されましたが、その狭間で権利擁護が必要とされる方々も多くいます。

長野県社会福祉協議会では、その狭間を埋める活動団体を支援すべく、個人や民間企業から寄付を受けて団体に分配する「ウィルサポファンド」を立ち上げ、その設置の過程で議論されたのが、「誰のための権利擁護か」ということでした。このことも含め、検討委員の一人であった鎌田さんは、これまでの経験などを踏まえながら、貴重な意見を述べられました。

## 支援者を支える取組が権利擁護に

検討会で、まず鎌田さんが伝えたのは「権利という概念は想像しにくい」ということ。どうしても被支援者は介護を権利ではなく、支援者の“おかげ”だと考えがちです。また、認知症の人の意思確認は難しいうえ、近年は独居者も増加し、その支援は善意だけでは成り立ちません。費用が発生するからこそ、鎌田さんはこの事業に期待を寄せています。

「寄付によって負担感なく支援することは、被支援者の申し込めさを和らげ、権利擁護につながります。これまで支援団体の育成等の取組はありましたが、寄付を集める仕組みは画期的。また、検討会では『寄付文化を作る』という提案もあり、寄付を自分ごととして捉えてもらう発想に可能性を感じました」

そのうえで大切なのは、「寄付を受ける支援団体の存在を多くの人に考えてもらうことだ」と鎌田さん。

「支援団体がいるということは、支援の対象者がいて、本人や家族、支援者が困りごとを抱えているということ。その困りごとを知ることで福祉が自分ごとになり、文化の形成につながります。人は誰でも災害や事故等で福祉的支援を受ける立場になります。ファンドにより、今後支援者が増えていくことに期待しています」

ウィルサポファンドの詳細は次ページで紹介します。

公益社団法人 認知症の人と家族の会 長野県支部

【電話相談】026-293-0379

(月～金 9～12時 / 代表者： 伝田景光)

<https://www.alzheimer.or.jp/>

ホームページ



# 一人ひとりの意思の決定と権利の行使を支えるための 社会づくりファンド (愛称: ウィルサポファンド)



フォローを受けながら自分らしく暮らす



ご案内パンフ (上) と  
一般寄付の  
受け入れの流れ (下)

## あんしん未来の創造を目指して

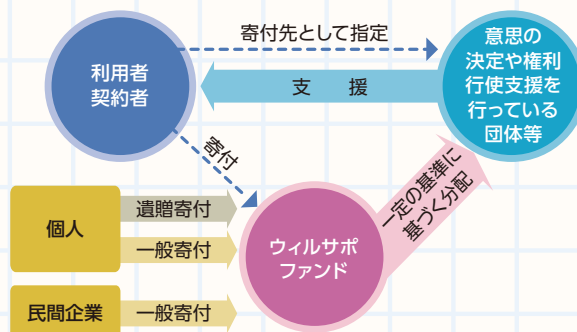
認知症になったり、知的や精神的、身体的な障がいを抱えていたり、未成熟なため自分の思いや考えを他人に伝え、自ら行動することが難しいことがあります。これまでの社会では、家族や親族などがフォローしてきましたが、その機能が薄れてきている現状があります。様々なことができにくくなった時にも、みんなが支え合って生きられるような社会の仕組みが必要です。

こうした課題に対して、長野県社会福祉協議会では、令和4年度に県から委託を受け検討を開始し、令和5年度は独自に検討を重ね、令和6年4月にウィルサポファンドを立ち上げました。

## 意思の決定や権利行使支援に取り組む団体を応援します

個人や企業からご寄付をいただき、意思の決定や権利行使の支援を行っている県内の社会福祉法人、NPO 法人、一般・公益法人等の取組に分配します。寄付の方法は、「一般寄付」と、亡くなった後の財産を受け入れる「遺贈寄付」があります。

ファンドでは分配を希望する団体の募集や団体の情報を掲載し、それぞれの団体がどのような活動をしているのかをご紹介します。



## 団体を指定して寄付することもできます

サービスの利用者や契約者などの「お世話になっている団体等に寄付したい」という思いを実現するため、寄付先を指定することができます。本来であれば利害関係人として寄付を受けることが難しい場合でも、このウィルサポファンドが受け皿となり、ご希望の団体に寄付することができます。

ただし、この場合は、「関係性注意事項」として専門委員会にていくつかの事項について確認を行います。

## 遺贈寄付をお考えの方は

提携する弁護士、司法書士と連携しながら、遺言作成の初期相談に応じたり、身近な専門職へのつなぎなどを行います。

### 相談先はこちら



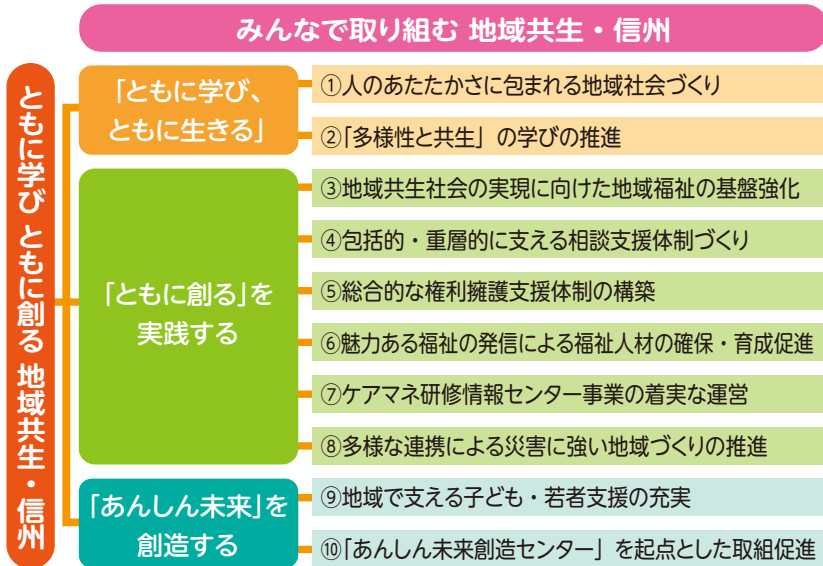
長野県社会福祉協議会 総務企画部企画グループ  
ウィルサポファンド担当  
TEL 026-228-4244 / FAX 026-228-0130  
mail : kikaku@nsyakyu.or.jp





# みんなで取り組む 地域共生・信州

長野県社会福祉協議会は、多様な個性を持つ人々が住み慣れた地域のなかで安心して暮らすことができ、あらゆる人や組織が分野を超えて「つながり」「支え合う」ことにより、一人ひとりが生きがいを感じ役割・出番がある地域共生社会の実現に向けて、協働と実践を加速させ、あしん未来の創造の実現を目指して『みんなで取り組む 地域共生・信州』を目標に掲げ、事業を推進して参ります。



## 「ともに学び、ともに生きる」

「赤い羽根全国ミーティング」に参画（まちづくり・ボランティアフォーラム）

新たな地域課題解決に向けた多様な活動を活性化させるため、全国各地の実践を共有し、学び、語り合うことの価値を再確認します。

### 外国人相談機関と福祉分野の連携

外国出身の県民の声を聴き、専門的な相談支援の充実や地域づくりにおける協働など、共生社会の実現に向けたソーシャル・アクションにつなげます。

## 「ともに創る」を实践する

### 地域共生社会推進事業の実施

市町村の地域共生社会実現に向けた取組を推進するため、重層的支援体制整備事業や、生活支援体制整備事業等の活用や、福祉に関する所属や役割の縦割りを越えた連携を促進するため、地域福祉のコーディネート力の向上を図ります。

### 「くらし」に寄り添う相談支援体制づくり

様々な理由により生きづらさを抱えた方や世帯を支援するため、福祉、

医療、司法、福祉、教育、就労、住居等の多職種・多機関のネットワークを構築し、制度の狭間を埋める社会資源の創出に取り組めます。

### 総合的な権利擁護支援に向けた取組の推進

尊厳のあるその人らしい生活を継続するために、その人に寄り添った意思決定支援の推進や権利擁護支援の担い手確保に向けた研修プログラムの開発に取り組めます。

### 求職者に選ばれる福祉業界を目指す

高校生、ミドル層、アクティブシニア層のそれぞれに福祉のしごとガイダンスを行います。また、長野県保育士・保育所支援センターを設置し、保育の魅力発信のための県外・潜在保育士向けのセミナーや保護者・子育て支援研修を実施します。

### ケアマネ研修情報センター事業の運営

実務研修受講試験の円滑な運営並びに新カリキュラムによる法定研修を着実に実施し、引き続きケアマネジャーの資質向上を支援します。

介護サービス情報の公表にあたり公表率の向上と公表サイト利用者の利便性を高めることに努めます。

### 多様な連携による

### 災害に強い地域づくりの推進

能登半島地震への県民の多様な支援活動の応援と保健・医療・福祉・地域の連携強化に取り組めます。また、市町村社協や福祉職能団体、企業や関係機関と連携し、被災地を支える仕組みの強化を図ります。

## 「あしん未来」を創造する

### 地域で育てる

### 子ども・若者支援の充実

子ども食堂やフードバンク事業等を推進し、地域で子どもを支える活動を促進します。加えて、「ヤングケアラー支援事業」や「社会的養護出身の若者サポートプロジェクト」等を通して、若者たちを隙間なく支えていく仕組みをつくりまします。

### あしん未来創造センターを起点に狭間の課題を研究・実践

「ひきこもり支援」、「身寄り」、「多頭飼育」等の課題など官民協働による多機関協働のプラットフォームとしてテーマごとにプロジェクトを立ち上げ、解決に向けた研究と実践に取り組まします。

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和6年度

# ボランティア活動保険

商品パンフレットは  
こちらから  
(ふくしの保険ホームページ)



新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類感染症に変更されたことに伴い、「特定感染症重点プラン」を廃止して2つのプランとします。

## 保険金額・年間保険料(1名あたり)

団体割引20%適用済/過去の損害率による割増適用

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円		
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額		6,500円		
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円	
		外来の手術		32,500円	
	通院保険金日額		4,000円		
	特定感染症		補償開始日から補償*		
賠償責任の補償	地震・噴火・津波による死傷		×	○	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		
年間保険料			350円	500円	

\*特定感染症についても10日間の免責期間がなく、補償開始日から補償対象となります。  
なお、令和5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症は補償対象外となりました。

## <重要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆途中でボランティアの代替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



## ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

## 送迎サービス補償

(傷害保険)

## 福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

### 団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事 保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
TEL: 03 (3349) 5137  
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)  
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

### 取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL: 03 (3581) 4667  
受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

(SJ23-11315より抜粋)

令和6年度  
社会福祉施設  
総合損害補償

# しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険 検索

老人福祉施設、  
障害者支援施設、  
児童福祉施設などに

スケールメリットを活かした割安な保険料で  
充実補償をご提供します!

◆加入対象は、社協の会員である  
社会福祉法人等が運営する社会  
福祉施設です。

## プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険等)

### ① 基本補償(賠償・見舞)

▶ 保険金額		保険期間 1年	
		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
お見舞い等	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

▶ 年額保険料(掛金)	
定員	基本補償(A型)
補基本A型 1~50名	35,000~61,460円
51~100名	68,270~97,000円
100名以降1名~10名増ごと	1,500円
付見舞費用B型 基本補償(A型) 保険料	【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所: 1,300円 通所: 1,390円



## プラン2 施設利用者の補償

## プラン3 職員等の補償

## プラン4 法人役員等の補償

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、雇用慣行賠償責任保険、役員賠償責任保険、サイバー保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。●

### 団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事 保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
TEL: 03 (3349) 5137  
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

### 取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL: 03 (3581) 4667  
受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

(SJ23-11446より抜粋)





## 県社協へお気軽にご相談ください!

県社協一丸となって地域共生社会の実現に取り組みます。



常務理事 竹内善彦    会長 三木正夫    事務局長 深沢幸栄

地域福祉、ボランティア等について



まちづくりボランティアセンター  
☎ 026-226-1882

福祉のお仕事や生涯研修について



福祉人材センター ☎ 026-226-7330  
保育士・保育所支援センター ☎ 026-217-7787

くらしを支える総合相談について



相談事業支援センター  
☎ 026-226-2035 (2036)

介護支援専門員研修・試験、公表について



ケアマネ研修情報センター  
☎ 026-226-2000

生活や就労などのお困りごとについて

信州佐久



信州諏訪



上伊那



下伊那



木曽



東筑



大町



信州長野



飯山



社会福祉法人の運営や公益事業について



総務企画部 ☎ 026-228-4244  
共済事業 026-226-4126 / 運適 026-226-2210  
民児連 026-225-1613 / 経営協 026-224-3700

生活就労支援センター (まいさぽ)  
☎ 026-226-2035 (本部)



(敬称略・順不同)

多くの皆様に御寄付・御寄贈をいただき、誠にありがとうございました。

## 長野県社会福祉協議会にご寄付いただいた皆様

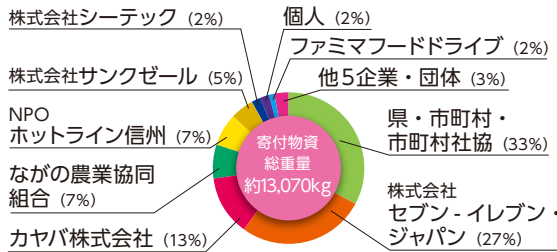
生活困窮者や交通・災害遺児支援等に使用させていただきます

寄付総額 1,390,034 円

- 株式会社アップネット
- 株式会社銀乃扇
- 長野マラソン大会組織委員会
- 第一貨物労働組合名古屋支部
- Mrs of the year 長野大会事務局
- 一般社団法人長野県市町村職員年金者連盟
- 新潮通信社
- 生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会長野県協会
- 長野県信用農業協同組合連合会
- 長野県中古自動車販売商工組合
- 長野県中古自動車販売商工組合青年部会

## 広域フードパントリー「むすびや」にご寄贈いただいた皆様 (長野県社会福祉協議会受領分)

生活に困窮した個人・世帯や子ども食堂等支援に使用させていただきます



## 長野ガイア応援団 KID にご寄付いただいた皆様

寄付者総数 216 件 寄付総額 6,765,000 円

子ども食堂の運営に使用させていただきます

- |       |       |       |       |           |                |                 |              |                   |
|-------|-------|-------|-------|-----------|----------------|-----------------|--------------|-------------------|
| 青柳和男  | 等々力浩二 | 坂戸徹也  | 荒井孝明  | 樋口慶三      | (株)小田切車体       | (有)ニシナ興産        | 富士印刷(株)      | 昭和電機産業(株)         |
| 宮岡謙介  | 田島明人  | 黒岩 清  | 坂本真知子 | (株)マナテック  | (株)マナテック       | 誠心エンジニアリング(株)   | (株)宮下        | (株)増田商会           |
| 田中清一  | 福島米一  | 内河一朗  | 本藤雅之  | 中澤大輔      | 協同組合ナガノ駅前センター  | (株)シューマート       | (株)サニクリーン甲信越 | (株)北條組            |
| 北村正博  | 北村博樹  | 切久保貴妃 | 小林正宗  | 中澤尚文      | (株)旭電気商会       | (有)三協金属         | 長野市商工会       | (株)町田電機商会         |
| 工藤正史  | 加藤裕樹  | 塩原勝美  | 奥原卓也  | 竹元 守      | 松代建設工業(株)      | 東信運送(株)         | 野村証券(株)長野支店  | (株)ながのアド・ビューロ     |
| 工藤浩美  | 五明久昇  | 夏目慶太郎 | 門田準人  | 春日英廣      | (株)八幡屋礦五郎      | (株)ナカジマ会館       | 北澤建材(株)      | (株)カネエ            |
| 塚田たま系 | 加藤恵美子 | 石井大介  | 北村賢司  | 春日恵子      | ミツフヤンマー(株)     | (株)電弘           | 塚田建設(株)      | 一般社団法人長野県経営者協会    |
| 塚田まゆり | 堀江三定  | 岩下 豊  | 横山 涉  | 春日孝之      | 長野ガス(株)        | (株)岡製作所         | (株)ドコモCS長野支店 | 長野證券(株)           |
| 塚田裕一  | 倉崎 浩  | 西澤啓子  | 蟻坂 健  |           | (株)ティオック       | NIKKIFron(株)    | (株)レイハイサービス  | 東京海上日動火災保険(株)長野支店 |
| 竜野泰一  | 加藤久美子 | 谷口威夫  | 五明良平  | 長野グリーンシティ | (株)石田福祉サービス    | (有)いろは堂         | (株)小山田組      | ホクト(株)            |
| 堀越倫世  | 加藤久雄  | 西澤一幸  | 五石和明  | ライオンズクラブ  | (株)みずずコーポレーション | MRI人間ドック小林医院    | (有)轟商会       | 弁護士法人中山山法律事務所     |
| 田中友人  | 池上憲章  | 笠井重光  | 倉石和明  | (有)ACEN   | 飯島建設(株)        | (株)マルモ青木味噌醤油醸造場 | (株)本久        | 他匿名希望95個人・団体      |
| 市川大造  | 荻窪雅幸  | 角田幸榮  | 加藤 章  | 坂田木材(株)   | 長野運送(株)        | 朝日サニター(株)       | (株)塚博        |                   |
| 唐澤幸浩  | 岡 正子  | 山田祐司  | 加藤良雄  | 淵之坊       | (株)システックス      | 石田通信機(株)        | 北信土建(株)      |                   |

## 参加者募集中

問合せ先: 福祉人材センター

### 第5回長野県介護技術コンテスト(ケアコン) 2024 ~ Change to 2040 ~

介護職員が中心となって、利用者の夢や想いを実現し自立につながるエピソードを動画で表現しよう!  
エントリー締切: 7月5日(金)



### ありがとうの仕事みつけ!

### ~第2回福祉のしごと フォトコンテスト~

「ありがとうが聴こえる福祉のしごと」の瞬間を写真に撮ろう!  
応募締切: 9月6日(金)



## 『無題』

色鉛筆 9cm x 12cm

作者: 小井土 純子 (78才・上田市在住)

以前勤務していた法人の2024年のカレンダーに小井土さんのこの絵が取り上げられていた。思わず『おお、こいちゃんだあ』と見入ってしまった。25年ほど前に法人内の作品展で、僕は小井土さんのカンバスに描かれた猫の絵に出会っている。それ以来小井土さんとはかかわりがなかったのだが、『小井土さんはこんな絵も描くのか』と驚き、彼女が暮らす入所施設に伺った。担当スタッフから小さなファイルみせてもらった。もっと大きな絵かと思っていたのだが、小さな薄い紙に描かれた絵である。ほかにカラフルな可愛い花や人の絵が保管されていた。小井土さんはもともと視力が弱く視野も狭い。言葉でのコミュニケーションも難しい。スタッフが大きな画用紙を渡しても、その片隅に顔をくっつけるようにして小さく絵を描いていたようだ。私たちは素晴らしい絵とは、きちんと色が塗られた大きな作品を思い浮かべるが、見逃しそうなこれらの小さな絵には小井土さんのファンタジックな世界が濃密に詰め込まれていると思う。いま、彼女は寝たきり状態で手厚い看護を受けており、もう絵を描くことはできないが、彼女の頭の中に広がる世界はどんなだろうかと想像せずにはいられない。

(ながのアートミーティング 関 孝之記)



Webサイトもご覧ください!

ご感想・お問合せ・掲載希望等は下記へお寄せください

長野県社会福祉協議会 総務企画部 企画グループ  
TEL 026-228-4244/FAX 026-228-0130  
E-mail info@nsyakyo.or.jp

長野県社会福祉協議会	福祉・介護べんり帖	長野県福祉研修共同サイト きゃりあねっと	信州福祉・介護のひろば